



たまなん通信

文責：横森一哲

学校創立30周年！ 9月28日

玉穂南小学校が、平成5年4月1日に誕生してから、今年で30年目を迎えました。

地域の方、玉穂南小学校で学んだ方、自分の子どもが玉穂南小学校で学んだ方、玉穂南小学校に先生として勤めた方等、全ての方が、玉穂南小学校をととても大切に思い、玉穂南小学校で学べたこと、一緒に過ごした仲間とともに成長できたことを誇りに思っていることを強く感じます。これからも、玉穂南小学校の子どもを見守り、支えてください。

第1部 記念講演

田中 正幸 さん 「夢をあきらめない ～左手一本のシュート～」

講師の田中さんの講演を聞いた子どもたちは、夢をもつこと、夢を追うことの大切さを感じたり、努力していききたい、仲間と助け合っていきたいなどと決意したりと、たくさんの感動を聞かせてくれました。夢をあきらめずに努力してきた田中さんの言葉だからこそ、子どもたちの心に響いたようです。

※保護者の皆様には、この講演の様子を「南小の子どもを考える会」として、11月の授業参観の折に、視聴していただき学習する会とさせていただきます。ご家庭で子どもと講演の内容について話す機会をおもちください。詳しくは、10月4日付の通知「道徳授業参観及び南小の子どもを考える会について」をご覧ください。



第2部 創立30周年記念式典

中央市市長 望月智様、初代PTA会長 鈴木章安様より祝辞をいただきました。本来であれば、多くの方をご招待して創立30周年をみなさんでお祝いしたかったのですが、コロナ禍の状況でしたので、可能な範囲で行わせていただきました。しかし、全校児童で玉穂南小学校の創立30周年記念の式典をできる限りで盛大に行うことができました。これも、地域の皆様、市関係各位、そして、現PTA会長であり、記念式典の実行委員長である大神田俊介様をはじめご尽力いただいた皆様のおかげです。皆様に感謝申し上げます。



学校運営協議会からのお願い！

第2回玉穂南小学校学校運営協議会が、開かれました。今回のテーマは、「どんな子どもになってほしいか」でした。学校教育目標『わたしもあなたも大切に、自分から動く子ども、自分から学ぶ子ども』とともに、学校運営協議会として、目指す子ども像を共有していく対話（熟議）を行いました。

まず、委員の皆様からは、次のような子ども像が出されました。

「あいさつができる子ども」「自分から学ぶ子ども」「人を大切にする子ども」

次に、目指す子ども像に向けて、学校でできること、家庭でできること、地域でできることを出し合いました。

そして、学校を応援できるように、地域や家庭でできることを学校運営協議会から発信していこうということになりました。

それが、

あいさつをしましょう

です。

家庭では

- ・ 親からあいさつ
- ・ 子どもの話を聞いてあげて
- ・ 普通の会話を大切に
- ・ 子どもが自分の思ったことを言えるようにしていく

地域では

- ・ 大人からあいさつ
- ・ 知っている子どもなら、声かけ
- ・ 地区総会や育成会であいさつをするように発信
- ・ 祭りなどのイベントや地域の行事を利用してコミュニケーション

家庭・地域のみなさん
よろしくお願ひします！

学校では、「あいさつ活動」を、児童会活動の重点目標として取組中です！

- ・ 玄関ホールでの朝のあいさつ活動：1学期は児童会役員が、2学期以降は1週間ごと学年をかえて登校してくる友だちに気持ちを込めてあいさつをしています。
- ・ あいさつができたならその結果を目に見える形にしてさらにあいさつ活動を活発にしています。